

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡医療秘書福祉専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験の ある教員等 による授業 科目の単位 数又は授業 時数	省令で定め る基準単位 数又は授業 時数	配置 困難
商業実務専門課程	歯科アシスタント科		32	3	
商業実務専門課程	医療事務科		27	3	
商業実務専門課程	医療秘書科		53	6	
商業実務専門課程	医療保育科		109	9	
商業実務専門課程	診療情報管理士科		89	9	
教育・社会福祉専門課程	介護福祉科		115	6	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」を職員室に設置し、広く一般に公開

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡医療秘書福祉専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	H28.4.1 ~ R2.3.31	法務
非常勤	公認会計士	H29.4.1 ~ R2.3.31	財務
非常勤	弁護士	H29.6.1 ~ R3.5.31	法務
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡医療秘書福祉専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2 月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。 原則として法人統一の様式を使用し、客観的に分かりやすい「授業計画」「到達目標」「成績評価基準」を作成・公表している。 公表はインターネットによる他、授業内で当該生徒へ説明する。また、習熟度等に応じて授業計画が変更される場合は、都度説明を行うものとする。(公表の時期は毎年度 4 月を目途とする)	
授業計画書の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/fukuoka-med.pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 全履修科目の評定(5点法で示されたもの)の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回(期末ごとに)一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/fukuoka-med.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 なお、卒業を認める者については課程において設定した目指すべき人材像を満たすことを求める。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/fukuoka-med.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡医療秘書福祉専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
財産目録	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		商業実務専門課程	歯科アシスタント科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	31 単位	165 単位 時間/ 11 単位	360 単位 時間/ 13 単位	90 単位時 間/2 単位	0 単位時 間/0 単位	270 単位 時間/ 9 単位
			885 単位時間/35 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		5 人	0 人	3 人	5 人	8 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。 作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、 2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を 総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出 し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目と みなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の 認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。

<目指すべき人材像> 歯科助手として、歯科医院において即戦力としてドクターや衛生士の補助、受付対応、レセプト業務等ができる知識を有する。
学修支援等
(概要) クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13 人 (100%)	0 人 (%)	13 人 (100%)	0 人 (%)
(主な就職、業界等) 歯科医院 等			
(就職指導内容) 業界の有識者や卒業生を招き、業界理解や職業理解のためのガイダンスを実施。また、担任、エリア担当の両名から面接指導や履歴書指導を実施してもらえるサポート体制を設けている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科助手検定、歯科医療事務検定、秘書検定、ペン字検定、パソコン検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	2 人	13.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 将来像を明確にするために、学校生活や将来における目標設定を行う機会を設定。また、クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、状況確認を行う。カウンセリングルームの紹介を行うなど、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務分野		商業実務専門課程	医療事務科				
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	31 単位	225 単位 時間/ 15 単位	585 単位 時間/ 21 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位
			810 単位時間／36 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		70 人	0 人	9 人	4 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2 月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <目指すべき人材像> 医療事務員として、病院・クリニックにおいて即戦力として受付対応、レセプト業務、看護補助、医師事務作業補助者等ができる知識を有する。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
54 人 (100%)	0 人 (0 %)	51 人 (94. 43%)	3 人 (5. 5%)

(主な就職、業界等) 病院、クリニック、調剤薬局、歯科医院 等
(就職指導内容) 業界の有識者や卒業生を招き、業界理解や職業理解のためのガイダンスを実施。また、担任、エリア担当の両名から面接指導や履歴書指導を実施してもらえるサポート体制を設けている。
(主な学修成果(資格・検定等)) 診療報酬請求事務認定試験、医療事務検定、秘書検定、ペン字検定、パソコン検定 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55 人	1 人	1.8%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 将来像を明確にするために、学校生活や将来における目標設定を行う機会を設定。また、クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、状況確認を行う。カウンセリングルームの紹介を行うなど、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務分野		商業実務専門課程	医療秘書科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位	1065 単位 時間/ 48 単位	1185 単位 時間/ 43 単位	160 単位 時間/ 4 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位
			2410 単位時間／95 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人		174 人	0 人		14 人	9 人	23 人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2 月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。

成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 ＜目指すべき人材像＞ 医療事務員として、病院・クリニックにおいて即戦力として受付対応、レセプト業務、看護補助、医師事務作業補助者等ができる知識を有する。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
75 人 (100%)	0 人 (0 %)	71 人 (94.6%)	4 人 (9.3%)
（主な就職、業界等） 病院、クリニック、調剤薬局、歯科医院 等			
（就職指導内容） 業界の有識者や卒業生を招き、業界理解や職業理解のためのガイダンスを実施。また、担任、エリア担当の両名から面接指導や履歴書指導を実施してもらえるサポート体制を設けている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療報酬請求事務認定試験、医療事務検定、秘書検定、ペン字検定、パソコン検定、専門士 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
156 人	1 人	0.6%

(中途退学の主な理由) 進路変更
(中退防止・中退者支援のための取組) 将来像を明確にするために、学校生活や将来における目標設定を行う機会を設定。また、クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、状況確認を行う。カウンセリングルームの紹介を行うなど、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務分野		商業実務専門課程		医療保育科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
				1350 単位 時間/ 90 単位	360 単位 時間/ 24 単位	480 単位 時間/ 10 単位	0 単位時 間/0 単位	600 単位時間/ 20 単位	
3 年	昼	93 単位		2790 単位時間／144 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
120 人		47 人	0 人		6 人		10 人		16 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2 月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <目指すべき人材像> 保育士、幼稚園教諭として、保育園・幼稚園において即戦力として対応できる知識を有する。また保育知識に加え、医療知識も有する保育者となれるように学ぶ。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 (100%)	0 人 (%)	17 人 (100%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） 保育園、幼稚園、乳児園、保育施設 等			
（就職指導内容） 業界の有識者や卒業生を招き、業界理解や職業理解のためのガイダンスを実施。また、担任、エリア担当の両名から面接指導や履歴書指導を実施してもらえるサポート体制を設けている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士、幼稚園教諭、医療事務、ペン字検定、パソコン検定、専門士、短期大学士 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53 人	6 人	11.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更、家庭の事情		
（中退防止・中退者支援のための取組） 将来像を明確にするために、学校生活や将来における目標設定を行う機会を設定。また、クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、状況確認を行う。カウンセリングルームの紹介を行うなど、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士					
商業実務分野		商業実務専門課程		診療情報管理士科		○							
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類									
				講義		演習		実習		実験		実技	
	3 年	昼	93 単位		825 単位 時間/ 45 単位		1650 単位時間/ 59 単位		135 単位 時間/ 3 単位		0 単位時 間/0 単位		0 単位時 間/0 単位
2610 単位時間／107 単位													
生徒総定員数		生徒実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数			
120 人		47 人		0 人		8 人		9 人		17 人			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 ＜目指すべき人材像＞ 診療情報管理士として、病院において即戦力としてカルテ管理やデータ分析等を担い、病院経営に寄与する知識を有する。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 (100%)	0 人 (0 %)	18 人 (100%)	0 人 (0 %)
（主な就職、業界等） 病院、クリニック 等			
（就職指導内容） 業界の有識者や卒業生を招き、業界理解や職業理解のためのガイダンスを実施。また、担任、エリア担当の両名から面接指導や履歴書指導を実施してもらえるサポート体制を設けている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療情報管理士、診療報酬請求事務認定試験、医療事務検定、秘書検定、ペン字検定、パソコン検定、専門士 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60 人	4 人	6.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 将来像を明確にするために、学校生活や将来における目標設定を行う機会を設定。また、クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、状況確認を行う。カウンセリングルームの紹介を行うなど、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
教育・社会福祉分野		教育・社会福祉専門課程		介護福祉科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習		実習	実験	実技	
2 年	昼	62 単位	1125 単位 時間/ 75 単位	525 単位時間/ 35 単位		450 単位 時間/ 15 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			2100 単位時間／125 単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
80 人		36 人	0 人		9 人		6 人		15 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2 月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <目指すべき人材像> 介護福祉士として、介護施設において食事や排泄、入浴などの身体介助や生活援助が行える専門知識を有する。

学修支援等
(概要) クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16 人 (100%)	0 人 (%)	16 人 (100%)	0 人 (%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム 等			
(就職指導内容) 業界の有識者や卒業生を招き、業界理解や職業理解のためのガイダンスを実施。また、担任、エリア担当の両名から面接指導や履歴書指導を実施してもらえるサポート体制を設けている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士、福祉住環境コーディネーター、介護報酬請求事務能力認定試験、専門士 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37 人	3 人	8.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 将来像を明確にするために、学校生活や将来における目標設定を行う機会を設定。また、クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、状況確認を行う。カウンセリングルームの紹介を行うなど、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
歯科アシスタント科	100,000 円	660,000 円	390,000～420,000 円	
医療事務科	100,000 円	660,000 円	370,000～420,000 円	
医療秘書科	100,000 円	660,000 円	350,000～420,000 円	
医療保育科	100,000 円	610,000 円	300,000～500,000 円	
診療情報管理士科	100,000 円	660,000 円	350,000～420,000 円	
介護福祉科	100,000 円	660,000 円	360,000～420,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/kankeisya/fukuoka-med.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。 学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
医療法人社団 廣徳会 岡部病院	2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで	関連業界関係者
特定医療法人 福西会 福西会病院	2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで	関連業界関係者
医療法人井上会介護老人保健施設 サンライフ陽光苑	2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで	関連業界関係者
福岡興業株式会社	2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで	関連企業
医療法人 尽心会 百武整形外科病院	2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで	関連業界卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/kankeisya/fukuoka-med.pdf		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-med/
